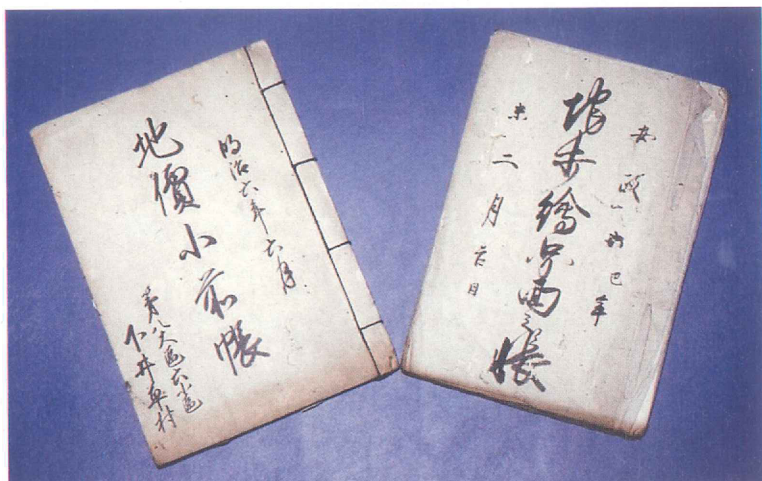


井口公家所藏文書



〔指定年月日〕昭和六年三月三十一日

平成一七年三月二三日追加指定

〔種別〕有形文化財（古文書）

〔名称〕井口公家所藏文書

〔点数〕二・四点

〔所有者等〕個人

〔所在地等〕清水二丁目

## 井口公家所蔵文書

井口公家文書は江戸時代から明治時代にかけて旧下井草村の村役を務めた井口家に伝わる文書で、年代は宝暦八年（一七五八）から明治三二年（一八八九）におよんでいる。

文書は地方文書一般を含むが村政・貢租・治安・土地・交通関係のものが多く、中でも比較的まとまっているのは文政一二年（一八二九）から天保七年（一八三六）の「村入用帳」一〇冊、文政五年（一八二二）から天保三年（一八三二）にかけての「御伝馬割付覚帳」などの助郷関係帳簿八冊などである。

地頭今川家に関する文書では文政七年（一八二四）の今川家家政改革にかかわる史料が面白く、また、治安関係文書は村民生活のこまを具体的に且ついきいきと伝える史料として興味深い。

この文書は井口喜容家（井口喜容家所蔵文書参照）、井口益太郎家（井口益太郎家所蔵文書参照）、慶應義塾大学に分散保存されている下井草村の文書と補いあつて、江戸時代から明治時代の村の歴史を明らかにするもので、杉並区の歴史に不可欠の史料である。

【文化財所在地】

